



# マルニ通信

vol.64



R7.8.2発行

2030年を見えた木造住宅設計

【講師 飯塚豊氏の講演より】

「私たちの未来の住まい」について東京ピックサイトで開催された飯塚豊先生の「住まいの内と外との境界について」講演会に参加してきました。住まいの内部から生活の息吹を発する家の景色や、地域になじみ、家がそこに黙ってたたずんでいる住まいの表情豊かな家の話しあは、縁側があつた日本の昔の風景を思い浮かべました。建物と人間の関係性を考えながら、建物が生き物と同じ様に、豊かな表情を浮かべているという事を忘れてはいけないと改めて思いました。

小田部 敏也



モデルハウス musubi

## MARUNI NEWS

マルニ夏フェスタ2025開催！ 8月31日(日) 9:30～13:30

今年の模擬上棟式は11:00～となります。  
お間違いないようよろしくお願い致します。  
キッチンカーや子供向けワークショップもございますので、ぜひご家族で遊びに来てください！

詳しくは別紙チラシをご覧ください。



## ボーリング

先日、会社のみなさんとボーリング大会をやりました！  
少し前からボーリング大会をやりましょうという話があり、自分は高校の時以来ボーリングはやっていなかったので、本番前に5回ほど練習に行きました。  
3ゲーム投げて1番スコアの高い1ゲームで競いましたが、自分は最下位でスコアが77でしたw次は100を超えるのが目標です！



フォロー、いいね！よろしくお願いします！



## まるにん四方山話

「早くおきた朝は」の話

毎日暑い日が続いていますね。これだけ暑いと休みの日外出るのも面倒になります。そんな中、少し前ですが早起きして蓮の花を見てきました。場所は栃木市のつかの里です。6時過ぎだったのですが意外とカメラを持った方やお散歩中の方が結構いらっしゃいました。昼間に比べると比較的過ごしやすかったのですがすぐ熱くなつたのでさっさと帰ってきました。

こうした静かな公園もいいですね。今年の夏は早起きして出かけよう！



小田部 正人

## 「舟を編む」

今、NHKで放映されているドラマ「舟を編む」。脚本部に配属された主人公(池田エライザ)が脚本や言葉の奥深さに触れていく物語です。

第1話で、「なんて」を口癖にする主人公は上司に指摘されて脚本を引き、今までどんなに同居していた恋人を傷付けていたか気づきます。「何て」には感嘆の気持ちを強調する副詞(例:何て素晴らしいのでしょうか!)の他に、副助詞として無視又は軽視する気持ちを込めて事柄を例示すると書かれています。「ごはん食べてる時間なんてない」「カメラなんて後にして」「脚本なんて」「私なんて」…

上司のセリフ引用すると「全く意図していないことを言葉が勝手に伝えてしまうことがある」ですね！

その他にも「右」や「恋愛」の語釈を話し合ったり、言葉についていろいろ考えさせられる番組です。

脚本って発行するのに10年以上かかるのですって！！

番組でも、脚本の作成者の言葉に対する情熱を感じました。

最近目がしょぼしょぼするので読書からも遠ざかっていましたが、言葉の海に飛び込んでみたくなりました。(笑) 小説「舟を編む」も読んでみたいです！

松林 里衣子



## マルニボーリング部

ついにマルニボーリング部が始動しました！

初回は1位と2位に商品！が掛かった戦いになりました。

ほぼ毎日練習を行っていたスタッフや内緒で練習して

いたスタッフw一発本番のスタッフ、様々でしたが、3ゲームやって優勝したのは社長でした！！私は一発本番で4位でしたが、1位の社長と3位の専務が辞退してくれたので私はスタバカードをゲットすることができましたw

すごく楽しかったのですが、普段動かないせいか次の日から全身筋肉痛で辛かったです。

次はスコア120を目指して練習頑張ろうと思います！



石川 仁美



## 帰省の夏ですね



なんでもない会話  
なんでもない笑顔

なんでもないから故郷が好き  
俵万智

小田部 久子

